

(R5年度)

ウェブアンケートを採用し、今年度で3回目となりました。保護者の回答率について1回目は7割を超えることができませんでしたが、昨年度71%の回答率、今年度は、さらによくなって76.5%の回答率となりました。今後もアンケート回答の御協力をお願いします。

回収したアンケートを集計したところ、施設・設備以外は、肯定的意見の割合が昨年度よりもよくなっているか同等の高評価という結果でした。以下に結果をふまえた今後の取組等をお知らせします。

(1) 学校教育目標について

教育目標を知っているという児童は昨年度の91%から今年度は94%となり、保護者については昨年度の72%から83%と10ポイント近くも上昇しました。

重点目標を「自学」「言葉遣い」「黙働」とし、特に昨年度より「言葉遣いに心を込めて、先にあいさつ」に力を入れて取り組んできました。御家庭の声かけやPTAのあいさつ運動などに御協力いただいていた結果が児童の高評価につながっていると思います。

今後も、重点目標をしっかり認知していただけるような指導、HP、学校だよりづくり等に努めて参りたいと思います。

(2) 学習面について

「授業がわかりやすい」については昨年度よりも高評価です。

「意欲的に学習に取り組んでいる」については、やや課題があるようです。家庭学習については、児童自身はよく取り組んでいると思っていますが、保護者はそうは感じていない様子がかがえます。さらに児童一人一人の意欲を引き出すわかりやすい授業づくりや学習課題提示の工夫などを目指し、指導力の向上に努めて参ります。

(3) 豊かな人間性、友達について

「友達を大切にしている」と回答する児童、保護者とも95%を超え高評価です。全体的に学年や男女関係なく仲がよい傾向にあります。児童一人一人の声に耳を傾けて、敬意を持って指導にあたり、豊かな人間性を育めるよう努めて参ります。

(4) 健康・安全教育について

「健康に気を付けて生活している」の評価が昨年度よりも数ポイント下がってはいますが、高評価といえます。引き続き、御家庭においても、食事・運動・睡眠等を意識し、健康に過ごせるようお願いいたします。今後は、手洗いの推進に力を入れて感染予防に努めて参ります。

この学区は地域で子供を育てようという意識が高く、「子ども守り隊」の方々が毎日、児童の登校を見守ってくださっています。今後も事故に遭うことがないように登下校の指導を継続し、より安全に生活ができるよう取り組んでいきます。

(5) 施設、整備について

現在、施設や周辺環境の老朽化が進んでいますが、安全第一で点検をし、改善するよう努力していきます。今年度はプールサイドの一部が改修されました。

(6) 地域の環境・施設・人材活用について

社会科・生活科のふるさと印西学-小林編-を中心に小林地区の様々な関係各所の協力を得て学習活動を展開することができました。今後も地域を愛し愛される子供の育成に努めて参ります。